

目 次

1. 調査の概要	-----	1
2. 調査結果	-----	3
1) スポーツボランティアの実施状況	-----	3
2) スポーツボランティアの活動内容	-----	5
3) スポーツ以外のボランティアの実施状況	-----	7
4) ボランティアの実施状況：スポーツとスポーツ以外のボランティアの 関係から	-----	9
5) スポーツボランティア活動の経緯	-----	13
6) ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募状況	-----	15
7) ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募理由	-----	17
8) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況		19
9) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募理由		21
10) ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボラ ンティアに応募しなかった理由	-----	23
11) ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボラ ンティアに関する報道の効果	-----	25
12) スポーツボランティアの実施希望状況	-----	27
13) 活動経験別にみるスポーツボランティアの実施希望状況	-----	29
14) スポーツボランティアの実施希望状況_他の調査との比較	-----	30
15) 今後希望するスポーツボランティアの活動内容	-----	31
16) スポーツボランティアとスポーツ実施、スポーツ観戦との関係	-----	33
17) 無自覚的スポーツボランティアの実施状況	-----	35
18) 無自覚的ボランティアを含むスポーツボランティアの実施状況	-----	38
3. まとめと考察	-----	39
4. 参考文献	-----	43

1. 調査の概要

1) 調査の目的

成人のスポーツボランティア実施状況およびスポーツ以外のボランティアの実施状況を把握するとともに、ラグビーワールドカップ 2019 と東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティアへの応募状況や応募の動機等を明らかにすることを目的とする。

2) 調査方法・対象

調査方法：調査会社の登録モニターを用いたインターネット調査

調査対象：全国の 20 代から 60 代

性別・年代別を考慮して割付け（回収数：10,000 サンプル）

3) 調査時期

2019 年 3 月

4) 調査項目

(1) スポーツボランティア実施状況

過去 1 年間およびそれ以前の実施状況

(2) スポーツボランティアの活動内容

以下の 3 分類・8 項目について、過去 1 年間およびそれ以前の実施状況と過去 1 年間の実施回数

①日常的な活動：スポーツの指導／スポーツの審判／団体・クラブの運営や世話／
スポーツ施設の管理の手伝い

②地域のスポーツイベント：スポーツの審判／大会・イベントの運営や世話

③全国・国際的スポーツイベント：スポーツの審判／大会・イベントの運営や世話

(3) スポーツ以外のボランティアの実施状況

以下の 11 分類について、過去 1 年間およびそれ以前の実施状況

①健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手、安全な食品を広めることなど）

②高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助けなど）

③障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力など）

④子どもを対象とした活動（子供会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなど）

⑤文化・芸術・学術に関係した活動

（日本古来の文化を広めること、美術館ガイド、講演会・シンポジウム等の開催など）

⑥まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、花いっぱい運動、まちおこしなど）

- ⑦安全な生活のための活動（防災活動、防犯活動、交通安全運動など）
- ⑧自然や環境を守るための活動
 - （野鳥の観察と保護、森林や緑を守る活動、リサイクル運動、ゴミを減らす活動など）
- ⑨災害に関係した活動（災害を受けた人に食べものや着るものを送ること、炊き出しなど）
- ⑩国際協力に関係した活動（海外支援協力、難民支援、日本にいる外国人への支援活動など）
- ⑪神社、寺院、宗教に関する活動（法要や行事の手伝い、布教活動など）
- （4）スポーツボランティア活動の経緯
- （5）ラグビーワールドカップ 2019 のボランティアへの応募状況
 - 応募状況、応募理由、応募を検討したが応募しなかった理由など
- （6）東京 2020 オリンピック・パラリンピックのボランティアへの応募状況
 - 応募状況、応募理由、応募を検討したが応募しなかった理由など
- （7）ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する報道の効果
- （8）スポーツボランティアの実施希望状況
 - 今後のスポーツボランティアの実施希望状況と実施を希望する活動内容
- （9）スポーツ実施状況とスポーツ観戦状況
 - 過去1年間の定期的なスポーツの実施状況および観戦状況とその種目

5) 調査の実施体制

以下の3者による共同研究として実施した。

工藤 保子（大東文化大学 スポーツ・健康科学部 准教授）

長倉 富貴（山梨学院大学 経営学部 教授）

澁谷 茂樹（笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 シニア政策アナリスト）